

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 06-327807

(43)Date of publication of application : 29.11.1994

(51)Int.Cl.

A63F 5/04

A63F 5/04

A63F 7/02

A63F 7/02

(21)Application number : 05-142697

(71)Applicant : EAGLE:KK

(22)Date of filing : 20.05.1993

(72)Inventor : INOUE HARUO

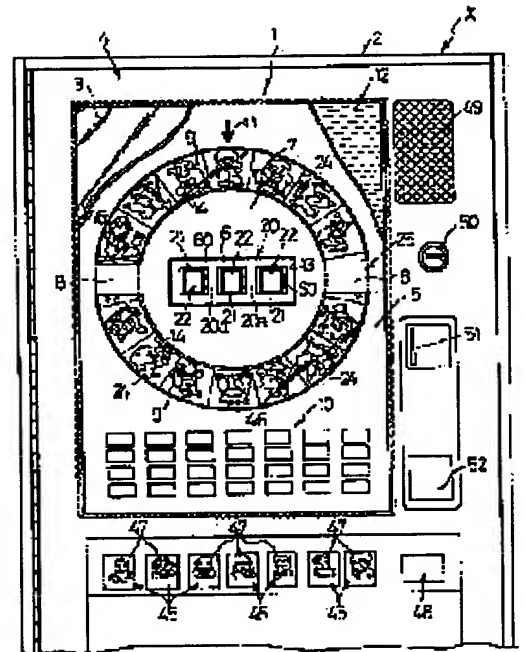
## (54) ROULETTE GAME MACHINE

### (57)Abstract:

**PURPOSE:** To improve the amusement performance by permitting the playing of a roulette game to have reality and adding other game such as slot machine, and constituting the game machine so that winning is determined by the revolution and stop of a rotary plate.

**CONSTITUTION:** On the reverse surface of the transparent plate 3 of a game machine body 1 which is pivotally installed in a freely openable/closable state, a printing sheet 5 having a rectangular window part 6 at the center part and an annular window part 9 which is installed at the position surrounding the rectangular shaped window part 6 and has a connection part 8 at the intermediate part is attached. Further, on the reverse surface of the transparent plate 3, a game board 12 having a plurality of open port parts 13 and 14 at the positions corresponding to the window parts 6 and 9 is arranged, and a supporting frame 20 having a plurality of window parts 21 where a plurality of revolution reels 22 revolved by a motor are set closely, is arranged in the central open part 13, on the reverse surface of the transparent plate 3.

Accordingly, at the position opposed to an annular window 9, the rotary plate for a roulette game which has an annular plate 25 having a plurality of winning partitions or winning divisions 24 such as characters, symbols, and drawings on the surface is arranged, and drive-controlled by the motor.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

07.04.2000

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平6-327807

(43) 公開日 平成6年(1994)11月29日

(51) Int.Cl. <sup>5</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
A 6 3 F	5/04	5 0 1 A		
		5 1 6 B		
	7/02	3 1 7		
		3 3 2 B		

審査請求 未請求 請求項の数 2 F D (全 8 頁)

(21) 出願番号 特願平5-142697

(22) 出願日 平成5年(1993)5月20日

(71) 出願人 391036389

株式会社イーグル

東京都杉並区久我山2丁目1番32号

(72) 発明者 井上治雄

東京都杉並区久我山2丁目1番32号

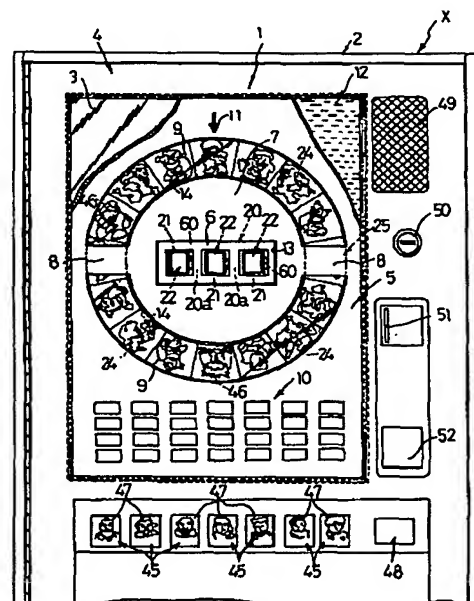
(74) 代理人 弁理士 三浦 光康

(54) 【発明の名称】 ルーレット遊技機

(57) 【要約】

【目的】 ルーレットゲームにスロットマシンゲームを加味し、当たり役の発生に対する期待感を色々な角度から抱かせ、遊技者の興奮度を一層盛上げることができること。

【構成】 中央部に第1開口部並びに第1開口部の外側に環状の第2開口部を有する遊技盤と、前記第1開口部に臨むように該遊技盤の裏側に固定的に取付けられ、かつ、複数の窓部が並列形成された支持枠と、この支持枠の前記窓部にそれぞれ内装され、かつ、支持枠に固定的に取付けられた複数の第1の駆動モータの駆動力によって個別的に回転する複数の回転リールと、遊技盤の裏側に位置するように箱体内に適宜に取付けられ、かつ、第2の駆動モータを支持する支持部材と、前記第2の駆動モータの出力軸に取付けられ、かつ、前記環状の第2開口部に位置あるいは対面する環状板を有するルーレットゲーム用の回転体とをを備えるルーレット遊技機。





## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 中央部に第1開口部並びに第1開口部の外側に環状の第2開口部を有する遊技盤と、前記第1開口部に臨むように該遊技盤の裏側に固定的に取付けられ、かつ、複数の窓部が並列形成された支持枠と、この支持枠の前記窓部にそれぞれ内装され、かつ、支持枠に固定的に取付けられた複数の第1の駆動モータの駆動力によって個別的回転する複数の回転リールと、遊技盤の裏側に位置するように箱体内に適宜に取付けられ、かつ、第2の駆動モータを支持する支持部材と、前記第2の駆動モータの出力軸に取付けられ、かつ、前記環状の第2開口部に位置あるいは対面する環状板を有するルーレットゲーム用の回転体とを備えるルーレット遊技機。

【請求項2】 請求項1に於いて、回転体は、環状板と、この環状板の裏側に固定的に取り付けられ、かつ、全体とし蛍光灯の傘骨あるいはザルの骨組みの如く形成された傘状骨組み体とから成ることを特徴とするルーレット遊技機。

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、各種の健康ランド、ゲームセンター等に設置されるルーレット遊技機に関する。

【0002】

【従来の技術】従来、ルーレット遊技機は、適宜形状に形成された箱体の前面開口部に遊技機本体が開閉可能に枢着され、前記遊技機本体は、少なくともアクリル板、ガラス板等の透明板を有する開閉扉と、前記透明板に貼着され、かつ、文字、図柄等でルーレットゲームの内容が設けられた印刷シートと、この印刷シートの裏側に取付けられ、かつ、該印刷シートに施された各仕切りあるいは区画に対応するように円周方向に複数の光通過孔を有する遊技盤と、前記各光通過孔にそれぞれ臨むように遊技盤の裏側に配設された複数の点滅ランプと、これらの点滅ランプとそれぞれ電氣的に接続し、かつ、各点滅ランプの点滅を遊技者の視覚に対してあたかも光が回転走行しているかのよう順次点滅させる中央処理装置とを備えていた。

【0003】しかして、従来のルーレット遊技機は、「印刷シートに施された各仕切りあるいは区画に対応するように円周方向に複数の光通過孔を有する遊技盤と、前記各光通過孔にそれぞれ臨むように遊技盤の裏側に配設された複数の点滅ランプ」とを構成要件としているので、実際のルーレットゲームの如く当たり区画盤を回転させる、あるいは現実何らかの回転盤を回転させると言う要素はなく、各点滅ランプの点滅を遊技者の視覚に対してあたかも光が回転走行しているかのよう順次点滅させるにすぎないので、視覚上今一歩もの足りなさがあった。また複数の点滅ランプを遊技盤の各光

通過孔にそれぞれ臨むように配設しなければならないので、製作が容易でないと同時に、コスト高になると言う欠点があった。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】本発明は以上のような従来の欠点に鑑み、遊技者の視覚に対し、より一歩現実のルーレットゲームのイメージに接近させることができ、また製作が容易でかつ安価であるルーレット遊技機を得ることである。

【0005】

【課題を解決するための手段】本発明のルーレット遊技機は、中央部に第1開口部並びに第1開口部の外側に環状の第2開口部を有する遊技盤と、前記第1開口部に臨むように該遊技盤の裏側に固定的に取付けられ、かつ、複数の窓部が並列形成された支持枠と、この支持枠の前記窓部にそれぞれ内装され、かつ、支持枠に固定的に取付けられた複数の第1の駆動モータの駆動力によって個別的回転する複数の回転リールと、遊技盤の裏側に位置するように箱体内に適宜に取付けられ、かつ、第2の駆動モータを支持する支持部材と、前記第2の駆動モータの出力軸に取付けられ、かつ、前記環状の第2開口部に位置あるいは対面する環状板を有するルーレットゲーム用の回転体とを備えることを特徴とする。

【0006】上記の構成に於いて、回転体は、環状板と、この環状板の裏側に固定的に取り付けられ、かつ、全体とし蛍光灯の傘骨あるいはザルの骨組みの如く形成された傘状骨組み体とから成ることを特徴とする。

【0007】

【作用】まず支持枠の窓部の内側壁等に第1の駆動モータを固定的に取付け、回転リールを各窓部に内装する。次にこれらの駆動モータを有する支持枠を遊技盤の第1の開口部に臨むように取付け片を介し、遊技盤の裏側に取付ける。

【0008】次に支持部材の取付け枠内に第2の駆動モータを取付け、この第2の駆動モータの出力軸にルーレットゲーム用の回転体を装着する。そして、この回転体を有する支持部材を遊技盤の裏側に位置するように箱体内に適宜に取付ける。この時回転体の環状板が第2開口部に位置あるいは対面するようにする。なお、第1及び第2の駆動モータは図示しないプリント基板の中央処理装置に接続される。

【0009】しかして、遊技者がメダルを遊技機本体のメダル投入口に投入し、特定図柄を選択して賭け（ベット）ボタンを押した後、スタートボタンを押すと、第2の駆動モータの駆動力により回転体が回転する。

【0010】回転体が停止した時ルーレットゲームが当たりならば、今度は第1の駆動モータが起動し、各回転リールが独自に回転する。これによりスロットマシンゲームが展開される。

【0011】



【実施例】以下、図面に示す実施例により、本発明を詳細に説明する。

【0012】図1は、ルーレット遊技機Xの主要部の外観を正面から示している。1は適宜形状に形成された箱体2の前面開口部に開閉可能に枢着された遊技機本体である。

【0013】しかして、遊技機本体1についてさらに詳しく説明すると、3はアクリル板、ガラス板等の透明板で、この透明板3は矩形状に形成され、箱体2の前面開口部に枢着された開閉扉4の開口部に固定的に取り付けられる。

【0014】5はこの透明板3の裏面に貼着され、かつ、後述する遊技盤に形成された各開口部に対応して複数の透明あるいは切欠状の窓部を有する印刷シートである。尚、印刷シート5は、後述する遊技盤の表面に貼着しても良い。

【0015】ここで図1を参照し、印刷シート5の窓部について説明する。6は中心部の矩形状第1窓部で、この第1窓部6の外側には中央部の非窓部7と接続する2個の接続部8、8を除いて環状第2窓部9が形成されている。環状第2窓部9は視覚上全体的なイメージとして「環状」であるという意味で、実際には前記接続部8、8との関係で図で示すように2個の弧状部が上下に対称的に形成されている。接続部8、8は、本実施例では左右に2個設けられているが、少なくとも1個あれば良く、また上下、斜め等任意の位置に設けることができる。

【0016】そこで、環状第2窓部9はルーレットゲームを彷彿させることができるのであればその形状は特に問わない。従って、楕円形、多角形等窓部が無端状に形成されているのであれば「環状」の意味に相当する。

【0017】10は印刷シート5の下部に複数の併設形成されたメダル数表示用の第3窓部である。

【0018】11は印刷シート5の環状窓部9の外側周縁部の適宜箇所に設けられた矢印、点、線などの当たり指標である。

【0019】ところで、本実施例では、当たり指標11は印刷シート5の適宜箇所に設けられているが、必ずしも印刷シートに設ける必要がなく、例えば印刷シート5を透明板3の裏側に貼着した際、当たり指標11が環状窓部9の外側周縁部に位置するように透明板3の一側面に設けても良い。

【0020】12は図3で示すように中央部に上記印刷シート5の矩形状第1窓部6に対応する第1開口部13を有し、かつ、該第1開口部13を取り囲んで外側に上記環状第2窓部9に対応する第2開口部14を有する遊技盤である。

【0021】しかして、この遊技盤12の第2開口部14の「環状」の意味合いも上述した印刷シート5の場合と同一である。従って、第1開口部13が形成された中

央部16はその余の部分17と左右の連結部18、18を介して一体的に連設している。また遊技盤12の下部にも前記第3窓部10に対応するメダル数表示用の第3開口部15が複数の併設形成されている。なお、遊技盤12は木材、合成樹脂材等適当な材質で透明板3の大きさと略同一に形成されている。

【0022】次に20は遊技盤12の第1開口部13に臨むように該遊技盤の裏側に固定的に取り付けられ、かつ、複数の、本実施例では3個の窓部21が並列形成された支持枠である。この支持枠20は任意の形状に形成することができる。また窓部も3個ではなく、4〜6個形成することができる。

【0023】22は支持枠20の前記窓部21にそれぞれ内装され、かつ、支持枠20の骨状部20aの内側面等に固定的に取り付けられた複数の第1の駆動モータ60の駆動力によって回転する複数の回転リールである。回転リール22は、本実施例では3個設けられているが、上記窓部21の設計如何によっては、4〜6個設けても良い。

【0024】ここで回転リール22の構成につき図5に基づき詳説すると、61は一側面に第1の駆動モータ60収納用の凹所62を有するリール本体で、このリール本体61の外側面には複数のシンボルマーク（識別標識）が施された帯状テープ63が接着層を介し貼着されている。

【0025】64はリール本体61の軸芯方向に形成された中心軸孔65に固定的に嵌挿された固定軸で、この固定軸64には第1の駆動モータ60の出力軸60aが固定的に嵌入している。

【0026】各第1の駆動モータ60は図示しないプリント基板の中央処理装置に電氣的に接続されている。各回転リール22は支持枠20を介して遊技盤12の第1開口部13に装着されると、印刷シート5の第1窓部6に位置する。

【0027】23は遊技盤12の環状第2開口部14並びに印刷シート5の環状第2窓部9に対面し、かつ、表面に文字、記号、図形などの当たり仕切りあるいは当たり区画24が複数の設けられた環状板25を有するルーレットゲーム用の回転体である。

【0028】この回転体23は、軽量化を図るため、図7ないし図9で示すように、上記環状板25と、この環状板25の裏面に固定的に取り付けられ、かつ、全体とし蛍光灯の傘骨あるいはザルの骨組みの如く形成された傘状骨組み体26とから成る。しかして、前記傘状骨組み体26は、中心孔27を有する円盤状の中心盤部28と、この中心盤部28から放射状に延設された複数の細長状アーム部29と、これらのアーム部29の各先端部を結ぶ環状板用の2個の取り付けリング部30と、これらの取り付けリング部30と中心盤部28との間に設けられた補強用リング部31から成る。



【0029】そして、本実施例では、回転体の揺れ防止を図るため、さらに傘状骨組み体26の各アーム部29の内側には複数個の空気流通孔32を有する多角形の揺れ止め防止片33がそれぞれ固定的にも設けられている。

【0030】次に35はコ字型状の支持部材で、この支持部材35は対向する両端部に取付け片36を有し、これらの取付け片36を介し遊技盤12又は開閉扉4の裏側に適宜に取り付けられる。なお、この支持部材35は場合によっては箱体2の適当な箇所に取付けても良い。したがって、支持部材35は少なくとも遊技盤12の裏側に位置するように箱体2内に適宜に取り付けられている。

【0031】しかして、支持部材35の中央部37の内壁面には第2の駆動モータ38用の取り付け枠部39が設けられ、該取り付け枠部39内に第2の駆動モータ38が固定的に内装される。この第2の駆動モータ38も図示しないプリント基板の中央処理装置に接続されている。

【0032】一方、支持部材35の中央部37の外壁面には図6で示すようにプリント基板用の取り付けバー40が所要間隔を有して設けられている。

【0033】なお、前記第2の駆動モータ38の出力軸38aは図7で示すように支持部材35の取り付け枠部39から突出し、この突出した出力軸38aに上述した回転体23が一体的に取付けられる。

【0034】次に45は図1で示すように箱体2あるいは開閉扉4の適宜箇所に設けられた複数個の賭けボタンで、これらの賭けボタン45には回転体23の環状板25の表面に描かれた各図柄46に対応するベット用図柄47が描かれている。

【0035】48は賭けボタン45の近くに設けられたスタートボタンである。開閉扉4にはその他スピーカー49、施錠装置50、メダル投入口51、メダル取り出し口52等が設けられている。

【0036】上記構成に於いては、まず支持枠20の窓部21の内側壁等に第1の駆動モータ60を固定的に取り付け、回転リール22を各窓部21に内装する。次にこれらの駆動モータ60を有する支持枠20を遊技盤12の第1開口部13に臨むように取付け片を介し、遊技盤12の裏側に取付ける。

【0037】次に支持部材35の取付け枠部内に第2の駆動モータ38を取付け、この第2の駆動モータ38の出力軸にルーレットゲーム用の回転体23を装着する。そして、この回転体23を有する支持部材35を遊技盤12の裏側に位置するように箱体2内に適宜に取り付ける。この時回転体23の環状板25が第2開口部14に位置あるいは対面するようにする。なお、第1及び第2の駆動モータは図示しないプリント基板の中央処理装置に接続される。

【0038】しかして、遊技者がメダルを遊技機本体1のメダル投入口51に投入し、特定図柄を選択して賭け(ベット)ボタン45を押した後、スタートボタン48を押すと、第2の駆動モータ38の駆動力により回転体23が回転する。

【0039】回転体23が停止した時今仮に当たり指標11の所に環状板25の賭けた絵柄が来たとなると「当たり」で、今度は第1の駆動モータ60が起動し、各回転リール22が独自に回転する。これによりスロットマシンゲームが展開される。そして、各回転リール22がそれぞれ回転停止した時に該スロットマシンゲームに当たりが発生すると、ルーレットゲームの当たりにスロットマシンゲームの当たりがプラスされる。その時のメダルの合計数は遊技機本体1の第3窓部10に図示しない点燈ランプにより表示される。

【0040】なお、本実施例ではルーレットゲームが先行して「当たり」が発生した時、スロットマシンゲームが開始すると言う説明になっているが、もちろんプログラムはこれに限定されるものではなく、回路によっては、例えばルーレットゲームが開始する前に各回転リール22が回転したり、又はルーレットゲームの開始後あるいは開始中に各回転リール22が始動するようにしても良い。

【0041】

【発明の効果】以上の説明から明らかなように本発明にあっては、次に列挙するような効果がある。

(1) 回転体23の当たり区画を有する環状板25が遊技盤12の環状第2開口部14に位置あるいは対面しているため、遊技者の視覚に対し、より一歩現実のルーレットゲームのイメージを訴えることができる。

(2) 従来のように複数個の点滅ランプを遊技盤の各光通過孔にそれぞれ臨むように配設する必要がないので、製作が容易であると同時に、安価制作することができる。

(3) 遊技盤12の第1開口部13にメカ式的回転リール22を複数個設けたので、これらの回転リールに遊技機本体が本来持つルーレットゲームの他にスロットマシンゲームを加味して展開させることができる。したがって、遊技者に対して、当たり役の発生に対する期待感を色々な角度から抱かせ、遊技者の興奮度を一層盛上げることができる。

(4) 窓部を有する支持枠を用いているので、回転リールを遊技盤に容易に装着することができる。

(5) 回転リール及び回転体が機械的に回転するので、耐久性に優れている。

(6) 回転体が、環状板と、この環状板の裏側に固定的に取り付けられ、かつ、全体とし蛍光灯の傘骨あるいはザルの骨組みの如く形成された傘状骨組み体とから成る実施例の場合は、回転体の軽量化を図ることができると共に、空気抵抗を少なくすることができる。



## 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のルーレット遊技機の主要部の外観を正面から示す一部切欠の説明図。

【図2】本発明のルーレット遊技機の主要部の外観を背面から示す説明図（支持部材、回転体等は示していない）。

【図3】本発明の遊技盤の概略説明図。

【図4】本発明の要部（支持枠、窓部、回転リール）の概略説明図。

【図5】本発明の要部（回転リール）の具体的な説明図。 10

【図6】本発明のルーレット遊技機の主要部の外観を背面から示す説明図（支持部材、回転体等は装着されている）。

【図7乃至図9】本発明の要部（回転体）の概略各説明図。

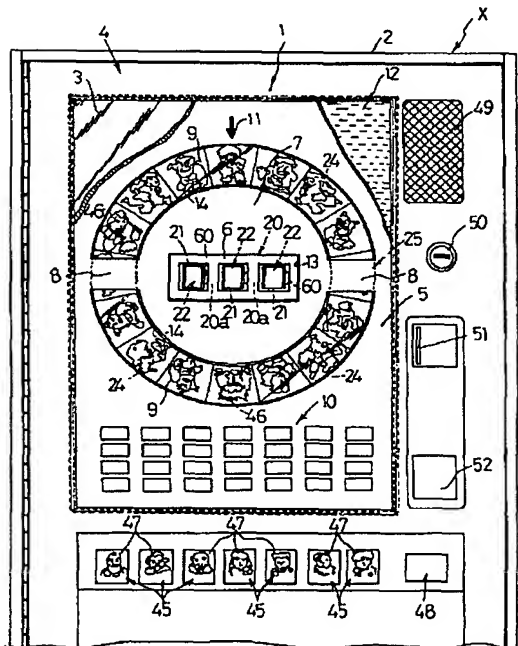
## 【符号の説明】

X…ルーレット遊技機、

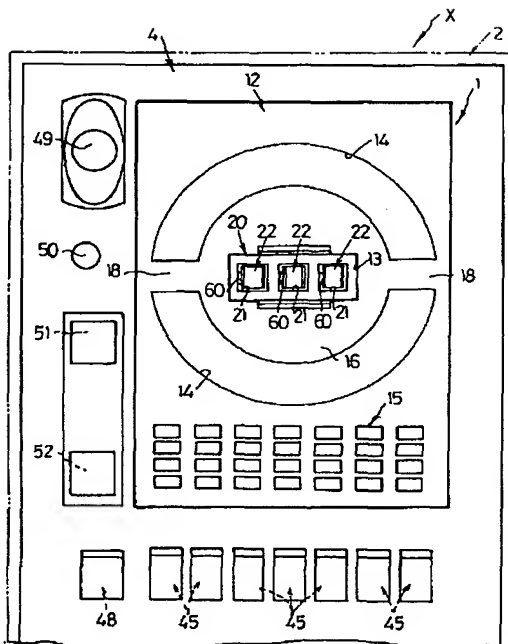
- \* 1…遊技機本体、  
 2…箱体、  
 3…透明板、  
 5…印刷シート、  
 12…遊技盤、  
 13…第1開口部、  
 14…第2開口部、  
 18…連結部、  
 20…支持枠、  
 21…窓部、  
 22…回転リール、  
 60…第1の駆動モータ、  
 23…回転体、  
 25…環状板、  
 26…骨組み体、  
 33…揺れ止め防止片、  
 35…支持部材、  
 38…第2の駆動モータ。

\*

【図1】

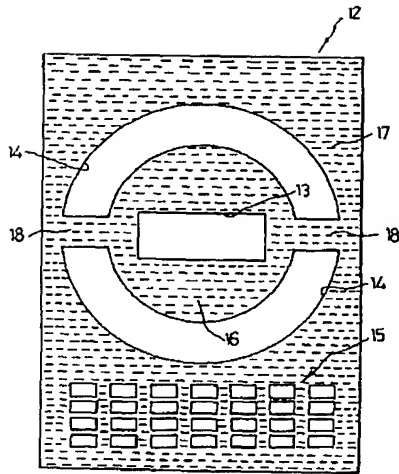


【図2】

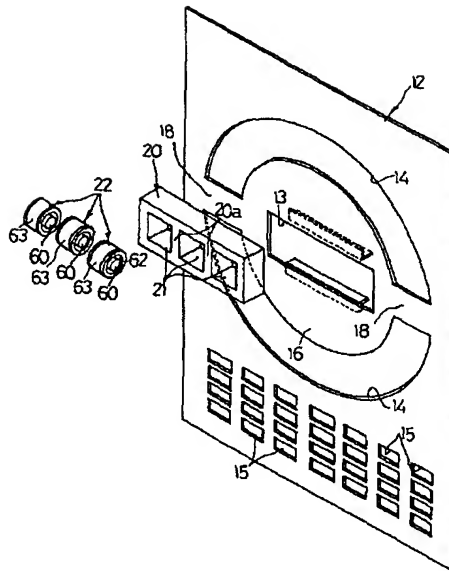




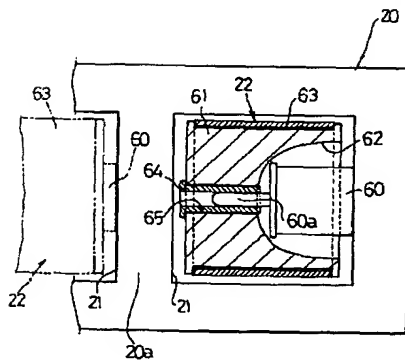
【図3】



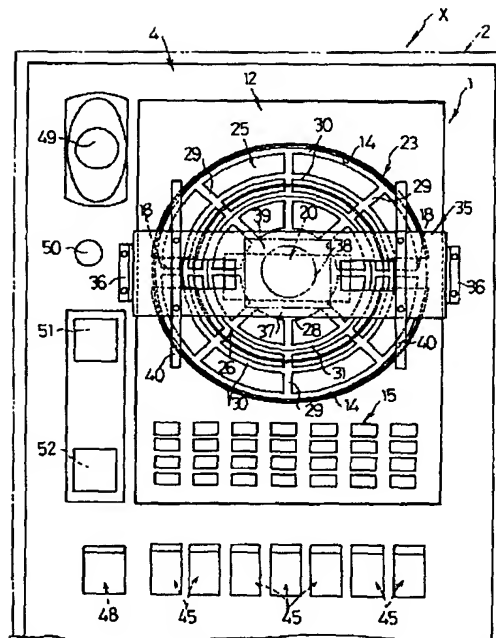
【図4】



【図5】

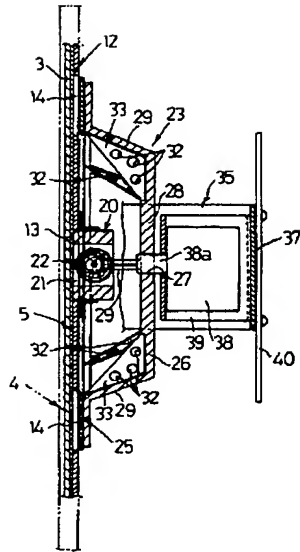


【図6】

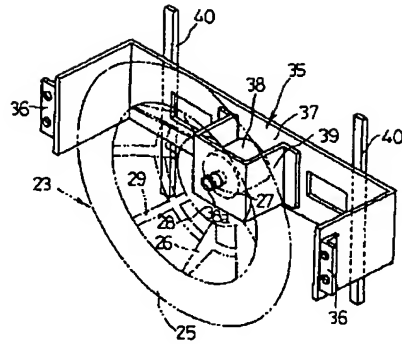




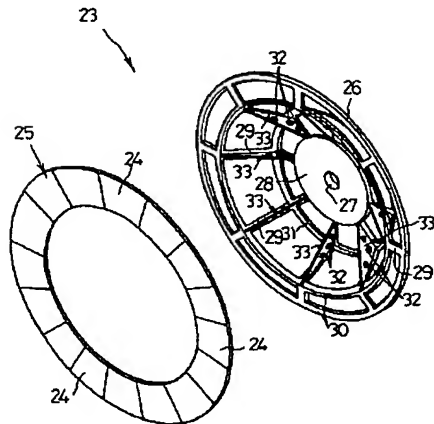
【図7】



【図8】



【図9】



## 【手続補正書】

【提出日】平成5年10月14日

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】図面の簡単な説明

【補正方法】変更

【補正内容】

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のルーレット遊技機の主要部の外観を正面から示す一部切欠の説明図。

【図2】本発明のルーレット遊技機の主要部の外観を背面から示す説明図（支持部材、回転体等は示していない）。

【図3】本発明の遊技盤の概略説明図。

【図4】本発明の要部（支持枠、窓部、回転リール）の



概略説明図。

【図 5】本発明の要部（回転リール）の具体的な説明図。

【図 6】本発明のルーレット遊技機の主要部の外観を背面から示す説明図（支持部材、回転体等は装着されている）。

【図 7】本発明の要部（回転体）の概略説明図。

【図 8】本発明の要部（回転体）の概略説明図。

【図 9】本発明の要部（回転体）の概略説明図。

【符号の説明】

X…ルーレット遊技機、

1…遊技機本体、

2…箱体、

3…透明板、

5…印刷シート、

12…遊技盤、

13…第 1 開口部、

14…第 2 開口部、

18…連結部、

20…支持棒、

21…窓部、

22…回転リール、

60…第 1 の駆動モータ、

23…回転体、

25…環状板、

26…骨組み体、

33…揺れ止め防止片、

35…支持部材、

38…第 2 の駆動モータ。